

♪コラム♪

私たちの楽団を紹介します。

アンサンブル シーガル横浜



昨年(2024年)11月24日(日)に第12回定期演奏会を開催しました。特にその年は当団の創立25周年を迎えるにあたり、団員一同張り切つて練習に励んでまいりました。会場は3月横浜市港北区民文化センター「ミズキホール」です。松永恒文理事長よりお祝いを受けたばかりの、まだ檜の末んばかりの香りが漂う真新しい横浜市港北の末んもあり、約350名ものお客様の大に下長も遠方より来場いたしました。満員御礼でした。

当団は、音楽を楽しみ、演奏技術の向上を目指すと共に、「長寿社会を健康で且つ謙虚に、仕事と感謝の心で活動すること」を奉公として、弦楽器、管楽器、鍵盤楽器、打楽器など自由な編成の器楽アンサンブルとして当団はシニア樂団特有の悩みである高齢化が進み、練習時に全員が揃うのが難しくなってきていましたが、これからも健康第一で長寿社会を好きな音楽を通して生き生きと元気に活動を続けたいと思います。

当団は、樂器演奏を愛好するアマチュアの集まりとして1999年8月に「シニアアンサンブル横浜」として設立し、NPO法人日本シニアアンサンブル連盟に加盟、現在では登録37団体中3番目の最古参となっています。参加者が元々シニアであるため、あってシニアと冠する必要がないのではないかと「シニア」を削り、横浜のシンボルであるカモメ(Seagull)を採用して、2010年2月に「アンサンブル シーガル横浜」と改名しました。



アンサンブルシーガル横浜 佐藤章一



今回も、小さなお子様から、私たちと同世代の方々まで、親・子・孫の三代に渡つて幅広く楽しんでいただけのようクラシックからポピュラー、アニメや映画音楽、童謡から民謡・歌謡曲・ジャズなど幅広いジャンルの演奏に精いっぱい挑戦しました。ただ、ひとつ残念なことに樂団創立に尽力いたしました。テナーサックスの林潤さんが、11月初めに定期演奏会を目前にして87歳で他界され、定期演奏会では樂器だけでの参加となってしまいました。亡くなる2日前までご一緒に練習に参加され演奏会を楽しみにされていましたのに、急逝でした。